

平成23年度

自主汗学

じしゅかんがく



平成23年12月22日
半田市立青山中学校
第19号
学校だより

2学期をふりかえって

終業式校長式辞概要

本年度、「自主の精神、汗で学べ」を実現するための次の7つの生活信条を実践してほしいと言ってきました。

- | | | |
|-------------|----------------|-------------|
| ①自ら求めて学ぶ。 | ②学んだことを反復練習する。 | ③創意工夫する。 |
| ④長所を発見し伸ばす。 | ⑤責任と協力を重んじる。 | ⑥思いやりの心を尊ぶ。 |
| ⑦すべて汗で学ぶ。 | | |

この7つのことに挑戦し、「汗で学べ」た2学期となったでしょうか。7つもあるので、覚えるのも大変で、実践できたと胸をはって言い切れる人が少ないのではないかと心配しています。

ところで、2学期には、大きな3つの行事がありました。自然教室、青山祭、マイチャレンジです。その大きな行事の中で、あなたたちは、いろいろなことを学びました。行事の成功をめざして、前向きに企画や運営に参加し、創意工夫を取り入れました。また、与えられた役割をしっかりと果たすことで、協力の大切さを学びました。そして、行事を通して、友だちの良さを知るとともに、思いやりの大切さを知りました。

つまり、自然な形であなたたちは、生活信条を実践してきました。だから、この生活信条を意識すれば、もっと大きく成長できるのではないかと私は考えています。ぜひ、これからは、「汗で学べ」の7つの**生活信条を意識した実践**に心がけてほしいと思っています。

さて、明日から冬休みです。家族だんらんを大切にしましょう。しかし、やらなければならないことは、きちっと行ってください。特に、受験生である3年生は、勝負の冬休みです。がんばって勉強しましょう。

3年生代表

この2学期は私にとってとても内容の濃い学期でした。まず、中学校生活最後の青山祭がありました。私は生徒会をしていて、青山祭のために夏休みや土日に学校に来たり、家に持ち帰って作業をしたりしました。夏休みからオープニング、エンディング、幕間の内容を生徒会のメンバーで話し合って決定していきました。自分たちの思うようにはかどらず、なかなか前に進まないことも多かったです。しかし、生徒会の先生にアドバイスをもらったり、生徒会のメンバー同士で話し合ったりしてなんとか乗り越えてきました。私の中では大変だったけど、青山祭が終わったとき、大きな達成感があったし、とても楽しくて、よい思い出となりました。

次に、勉強のことです。私たち3年生は、初めての分岐点である進路決定があります。今までの進級と違って、一人一人が自分の将来を考え、自分の力で前に進んでいかなければなりません。いろいろなことが初めてで、今の自分の力で志望校に合格することができるかどうかなど、不安なことがたくさんあります。勉強しているときに投げ出したくなるときもあります。そんなとき、私は三年間やってきた部活を思い出します。私は負けず嫌いで、入部したときから、自分ができないことがあると悔しくて、つらい練習を重ねてきました。この経験はこれからの勉強や今からの受験勉強に役立つことと思います。勉強だってわからないところがあれば悔しくて「絶対解けるようになってやる！」とやる気が出ます。私がやってきた部活はこんな形となって私のためになっています。それと同じように、今までやってきた勉強もこれからやっていく勉強も将来どこかで私のためになるのだと思います。

三学期、残りわずかな中学校生活を悔いなく過ごし、受験に向けて百二十パーセントの力を出すために、冬休みは今までの苦手をなくし、三学期に向けて準備をして、来年、合格発表で笑えるように努力していきたいです。

2年生代表

2年生という学年は、よく中だるみの学年と言われがちです。実際、気持ちがゆるんできたなど思うことも以前に比べ多くなったように感じます。

例えば、授業中の私語が多かったり、テスト週間中の雰囲気が悪くなかったり、移動教室の時の態度が良くない、などが有ります。1学期の時はできていたことなのに、なぜかできなくなってしまいました。それでも、三役の呼びかけを中心に、少しずつではありますが、取り戻していくことができました。学年全員で協力することができたからこそだと思います。

今学期は、2年生にとって多くの行事がありました。職場体験や青山祭、マイチャレンジです。特にマイチャレンジは最も大きな行事で、25kmか30kmを歩き通すという初めてのチャレンジです。チャレンジ当日まで自分に歩き通すことができるのだろうかと不安でした。マイチャレンジ当日はとても肌寒く、雨も降っていてとても過酷な条件でしたが、仲間と励まし合い、何とか歩き通し、大きな達成感を得ることができました。

私はこれらの行事を通じて、2つのことが強く心に感じられました。

1つ目は、仲間と協力することの大切さです。つらい時や苦しい時に仲間がいたからこそがんばれたこと、乗り越えられたことが多くありました。一人ではできなかったと思います。側において、支えてくれる仲間が大切だと感じ、かかわることの必要性を見つめ直すことができました。

2つ目は、私たちは先生方や家族など、様々な人に毎日支えられて生活している、ということです。職場体験では実際に働くことを体験し、ほんの一部ではありましたが、働くことの大変さを実感しました。実際の仕事はもっと厳しく、大変なはずなのに、毎日私たちのために一生懸命に働いてくれているのだと思います。私たちを心から思いやり、心配してくださる気持ちに、改めて感謝します。

3学期は2年生の締めくくりであり、3年生になるための準備をする重要な学期です。3年生への第一歩として受験生となることを意識して勉強への取り組み方を見つめ直していきたいと思います。また、部活動でも最高学年として、しっかりと先輩らしい行動をとり、後輩達を引っ張って行きたいです。青山中の生徒でよかったと胸をはって言える充実した日々を過ごせるよう、一人一人が自分自身としっかりと向き合い、自立し、一步一步を確実に歩んでいきたいと思います。

1年生代表

僕は2学期にがんばったことが2つあります。

1つ目は三役としてクラスを引っ張っていったことです。最初の頃の僕のクラスは、落ち着きがなく、授業中にうるさくて、先生に何度も叱られました。クラスも全然まとまらず、三役をやっている自信がありませんでした。しかし、よりよいクラスにするために、先生に時間をいただいて、どうやったらクラスがまとまるかを三役が中心となって話し合いました。その結果、三役だけでなく、クラスみんなにも意識をもってもらい、お互い注意し合い、みんなで協力できるようなクラスになってきました。しかし、まだまだできていないこともたくさんあります。僕は後期も三役をやらせてもらえることになりました。3学期はさらにクラスの絆を深め、よりよいクラスになるようにみんなと協力していきたいです。

2つ目は部活です。僕は野球部に入っています。まだ1年生ですが、レギュラーを取って2年生の試合に出るという目標があります。そのため、自分にできることから努力をし、練習してきました。特に心がけたのは、「大きな声を出す」「自分から積極的に動く」ということです。このことを心がけて毎日、部活に取り組んできました。しかし、僕はまだ他のこともできていると思っています。3学期はこれまで以上に意識を高く、自分に厳しく、自分の立てた目標に向かって努力していきたいです。

3学期は1年間のまとめの学期です。僕たち1年生は、自然教室や青山祭という2つの大きな行事で得たものがあります。それは、「助け合う」ことです。「助け合う」ことで、自分1人ではできないこともできるようになります。みんなでやることで得られる感動も大きくなります。2年生になっても3年生になっても大人になっても、助け合うことは必要です。この2学期で得られた「助け合う」ことを心がけて、3学期はクラス、部活、勉強にがんばっていききたいと思います。